



進路だより



令和5年12月22日発行
第3号
福島県立平支援学校 進路指導部

進路学習への取り組み

進路学習とは、将来の進路実現のために必要とされる力を養い、知識を身につける学習です。学校生活全体を通じて、児童・生徒が自立して生活する力や働く力を伸ばし、一人一人の能力や適性に合った進路実現ができるよう取り組んでいます。高等部においては、産業現場等における実習を行いながら進路実現のために必要とされる力を具体的に知り、自己のもつ課題を解決しながら進路決定につなげていきます。小学部・中学部においては、その土台となる部分を系統的に学習しています。小学部・中学部の進路学習の一部をご紹介します。



小学部

【将来の社会生活に向けた学習

～小学部 給食の時間～】

給食は基本的に学級の教師と食べていますが、人との関わりを広げる取り組みとして、児童が誰とでも食事ができるように、他学級の教師と給食を食べる日があります。

最初は緊張し、短い時間しか一緒に食事ができませんでした。徐々に時間も延び、一緒に食べられる教師も増えてきました。今後も行っていききたいと思います。



中学部

【将来の職業生活に向けた学習

～中学部 学習旅行・校外学習～】



中学部1～3年1組は、「いわきFCパーク」へ行き、スポーツウェアの検品や箱詰めなどの作業の様子を見学しました。また、職場で働くために必要なことについて、いわきFCパークの方からお話を頂きました。その中で、体や心の健康の大切さや職場の人とのコミュニケーションの大切さについて知ることができました。将来の職業生活に向けて目標をもち、今の生活を見直す良い機会になりました。



中学部1～3年2組では、いわき市泉町にある就労継続支援B型 生活介護事業所「創造空間」の見学を行いました。2種類の仕事があり、ダンボール組み立ての現場では、その作業の手順や製品の用途などについて学びました。もうひとつは手芸や絵などを制作する創造力を生かした仕事で、楽しみながら制作している様子を見学しました。これらの学びを将来の進路選択に生かしていきたいです。



高等部 後期産業現場等における実習



高等部では、後期産業現場等における実習を、10月23日(月)～10月27日(金)まで行いました。特に1年生にとっては、校外での実習が初めてだったため、緊張感も大きかったと思います。

働くことや社会参加するために必要なことを学んだり、課題解決の方法を自ら考えたりと、進路実現に向けた学習の機会となりました。

【後期実習先】

- 企業 アルパインマニュファクチャリング株式会社
- 就労継続支援A型事業所 ふわり
- 就労継続支援B型事業所
工房阿列布 虹のかけはし しおさい ジョイワークセンター
- 生活介護事業所
アライブ エデンの家 なないろくれよん 光の家
どり〜むず ぽおけらハウス じゃんけんぼん北茨城

企業<アルパインマニュファクチャリング株式会社>

私は、アルプスアルパインマニュファクチャリング株式会社で実習をしました。カーナビディスプレイ基板へのシール貼り付け作業に取り組みました。初めはシールがずれてしまうこともありましたが、徐々に作業に慣れてきてミスが減らすことができました。



来年の実習では、今回の実習と同様に集中力を維持して作業に取り組むとともに、作業環境を工夫して作業効率を上げていきたいです。

就労継続支援B型事業所 <虹のかけはし>

私は虹のかけはしで実習をしました。活動内容は段ボール折り、パン袋のシール貼り、パン作りをしました。パンの生地を混ぜ合わせる作業や、切る作業は楽しく取り組むことができました。ですが、段ボール折りは、力が必要だったので大変でした。



今回の実習を通して、私は食品づくりの作業が向いていると自分で感じる事ができました。次の実習でも、食品づくりの作業に挑戦してみたいです。

感想

就労継続支援B型事業所<しおさい>

私はしおさいに行きました。ウエス作成の作業では、左ひじを使ってウエスをおさえることができました。部品の組み立てもやりました。作業が終わったときは、きちんと報告できました。次の実習に向けて、日ごろから言葉遣いに気を付けていきたいです。



生活介護事業所 <アライブ>

私は、アライブで実習をしました。活動では、トイレトペーパーの芯を、絵の具を使って色を染めて、飾りを作りました。職員さんの顔を見て、話しながら作ることができました。次の実習では、大きな声でトイレ以外のことも周りの人に伝えられるようにしたいです。



生活介護事業所 <光の家>

私は、光の家で実習しました。活動内容は水分補給やカラオケでした。実習では、敬語を使って話すことができました。次の実習では、初めての人も話ができるように頑張りたいです。



【高等部実習報告会】



前期、後期実習を通して考えたことについて、実習報告会で発表しました。発表はタブレット端末やスリット教材、実演など、生徒それぞれに合わせた方法で行いました。ほとんどの生徒は緊張した様子でしたが、発表を終え、降壇したときの表情は充実感に満ちていました。

保護者の皆様からの、生徒に向けたメッセージの一部をご紹介します。

『はじめての施設、放デイとは違う雰囲気でも、頑張っている姿を見ることができて嬉しく思いました。』

『3年生からの後輩に向けての「あいさつは大切」というメッセージ。経験から生まれた、心がこもった素敵なメッセージでした。しっかり受け継いでほしいですね。』

『実習でどんな事しているのか見れてよかったです。みんなの仕事へ思いを知ることによって、改めて働くことの意義、心がまえを考えさせられる発表でした。』

実習報告会は、来年度も実施予定です。